

情報モラルちょっと授業

～10分程度で指導する情報モラル～

対象学年	高校3年生
------	-------

領域	教科指導（総合実践）
指導項目	マイナンバー制度について

情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html)			
分野	情報セキュリティ		
コード	h5-1	指導事項	情報セキュリティに関し、事前対策、緊急対応、事後対策ができる。
指導のねらい	本校には、高校卒業後すぐに、社会人となる生徒が約半数いる。そのため、社会で問題になっていることに関心をもたせ、他人事ではないことに気付かせる。また、情報漏洩の社会的責任の重さと、事前・事後の対応の重要性を理解させる。		

科目・活動との関連	企業は、顧客の個人情報や店舗が管理する社外秘の情報、また社員の個人情報などを管理しており、社会人になってからの情報管理の大切さを理解させる。
利用教材（サイト等）	○「総務省」マイナンバー制度について http://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/01.html ○「経済産業省」個人情報保護 http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/privacy/

学習の過程（8分）	指導法	指導の留意点
<ul style="list-style-type: none"> マイナンバー制度について概略を知る。 マイナンバー制度のメリットと問題点を調べる。 マイナンバー制度についての感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントを用いて、マイナンバー制度について簡単に説明する。 インターネットで調べさせ、ウェブページを印刷してワークシートに貼り付けさせる。 印刷したウェブページの内容を参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身にもマイナンバーが割り当てられていることを紹介し、他人事ではないことを自覚させる。

子どもの反応	タイムリーな内容を題材とすることによって、日頃、新聞やニュースでも取り上げられていることと連動させることができ、生徒たちは興味をもって取り組むことができた。
実践の評価	限られた時間では、詳しく触れている時間的な余裕はない。そのため、授業と関連した部分に触れることに内容を絞り、あまり欲張らない方がよい。少しでも、時事問題に興味を持ってもらえればよいと考える。

*教材及び指導法の詳細は裏面参照

利用教材について

- あらかじめ、授業内容と関連する時事問題を考え、問題の概略がわかるような説明を加えた、ワークシートを用意しておく。(時事問題について、調べたり、話し合ったりする時間がもてないため)
- できる限り新しい出来事を題材に取り上げるとよいので、新聞記事なども活用するとよい。

ワークシートの例

タイトル「〇〇について」	氏名記入
(生徒感想記入欄)	
[参考資料 新聞記事など貼付]	

指導のポイント

- タイムリーな内容を題材にした方がよいと考え、今回は題材を「マイナンバー制度」にした。ただ、「マイナンバー制度」について学ぶことが目的ではない。制度そのものの理解に時間をかけるのではなく、マイナンバー制度から個人情報保護の重要性を理解させることが大切であり、今後も継続的に指導することが必要である。
- 個人情報保護も含めた情報モラルの重要性を理解させるため、新聞やテレビのニュース等で時事問題に関する情報収集を心がけるように指導する。

自作教材・ワークシート等

ワークシート1枚